
コンクリートのクラックにぐんぐん浸透 「Vカット」の手間を省く“画期的な補修剤”とは



これまでコンクリートのクラックといえば、
「Vカット (Uカット)」により表面を削掘し補修するケースが一般的だった。

当然のことながら施工にそれなりの工期を要し、
「騒音防止」や「粉じん対策」などの手間も馬鹿にならない。

その上「Vカット (Uカット)」処理は、その補修部分を目立たせないようにするために、仕上げ作業において細心の注意が必要になってくる。



また従来のコンクリートのクラック補修に使用する「**エポキシ注入材**」は、取り扱いに専門的な技術が必要であり、気軽に誰もが利用できる代物でもなかった。

そんな中「**Vカット (Uカット)**」の手間をかけることなく、誰でも簡単にコンクリートクラックに施工できる補修剤が大きな注目を集めている。

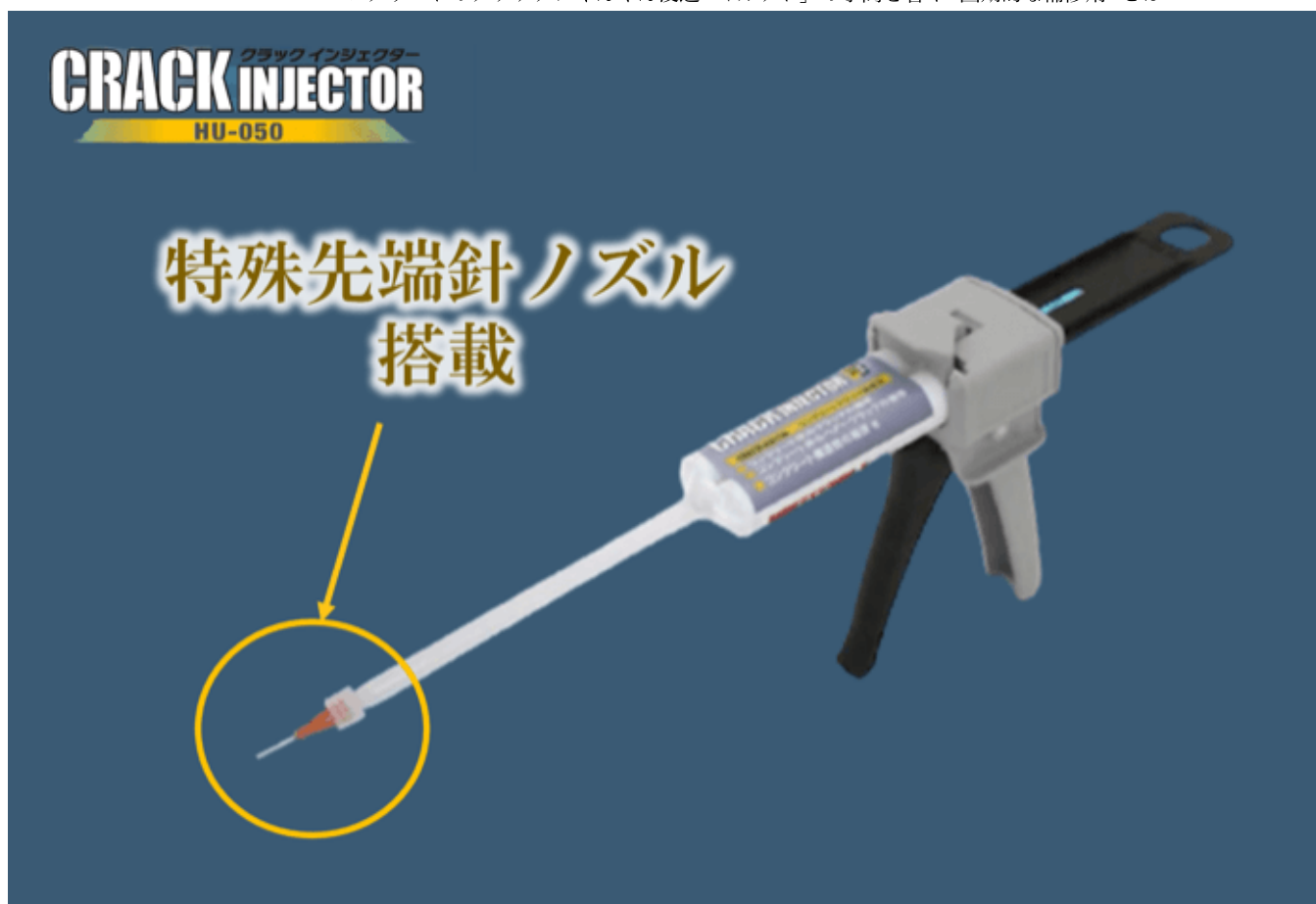
それが「**クラックインジェクター (CRACK INJECTOR HU-050)**」だ。



「クラックインジェクター」は、

新築・リフォームなどの小規模物件はもちろん、大型施設などの大規模補修まで、あらゆるコンクリートクラックに対応できる「**2連カートリッジ式**」のコンクリート補修剤である。

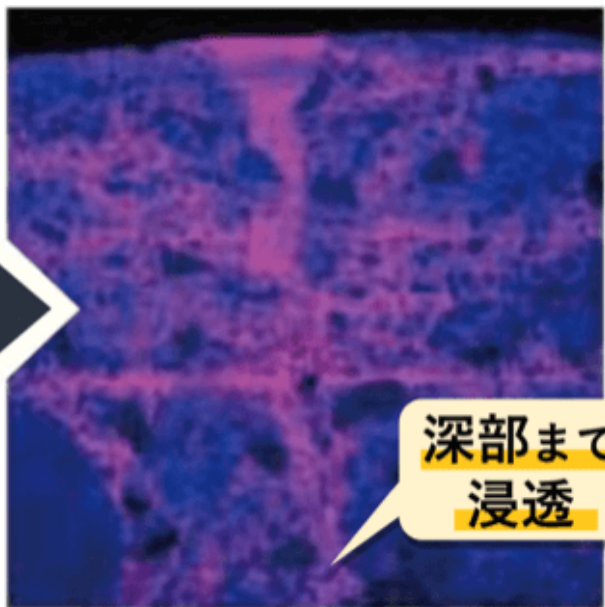
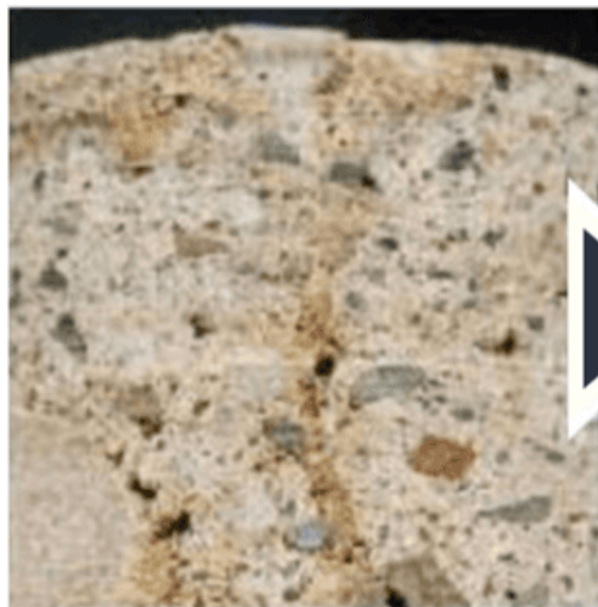
なんと言ってもその特長は、**特殊先端針ノズル**を搭載した、**唯一無二の性能**だろう。



補修剤をノズルからコンクリートのクラック部分に注入することで、「Vカット (Uカット)」などの下地処理をすることなく、誰もが気軽にクラックを補修することが可能だ。

実際に行われた紫外線による浸透実験では、表面だけでなく、**深部のクラックやわずかな気泡まで**補修剤が浸透していることがわかる。

紫外線による浸透実験



深部まで
浸透

ノズルで注入するだけで補修剤を浸透させることができる理由は、その粘度と樹脂特性にある。

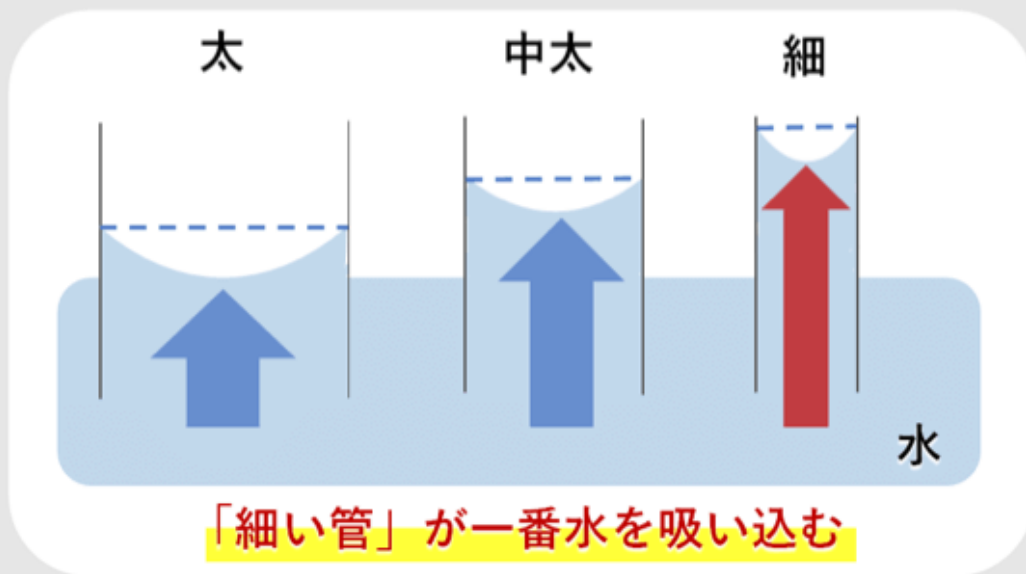
補修樹脂は“水”のような低粘度であるため、微細な隙間さえあれば常に流動する特性がある。

そのため「毛細管現象」を利用し、目に見えない深部までぐんぐん浸透させることが可能になっているのだ。

もうさいかんげんしょう

毛細管現象とは

浸透圧の影響で、液体が細い管に自然と吸い込まれていく現象のこと。



これにより、これまで「Vカット (Uカット)」を行い表面を削掘しなければならなかったところ、注入するだけで高度な施工が簡単に行える。

さらに注入された樹脂は15分前後で硬化する速乾タイプ。

下地補修時間の大幅短縮が可能のため、すぐに仕上げ工事を開始することが可能だ。

これまでの「騒音防止」や「粉じん対策」などの手間が省ける上に、更に大幅に「人件費」を削減できることも期待される。



使い方も、**とてもシンプルだ。**

施工面を清掃したら、ノズルをクラックにあてがって注入を行うだけ。

床面クラック部分が補修液で満たされたら、クラックの深部まで浸透しきった合図だ。

クラックの深部の状況が深刻な場合は、注入した部分に接着補強珪砂材を上から被せて、クラック内部及び表面の空洞部を埋めるように補修していく。

これを何度か繰り返し、硬化後の表面をスクレーパーなどで馴染むように仕上げれば施工完了だ。



実際の施工現場では、

- コンクリート基礎部のクラック補修
- 土間の微細クラックの補修
- 屋上駐車場のクラック補修（ホームセンター・デパートなどの駐車場）
- 塗装前や防水処理前のクラック下地処理

など、幅広く利用されているようだ。



いかがだったでしょうか？

このように、これまでのコンクリートクラック施工の常識を覆す“**画期的な補修剤**”である
「クラックインジェクター」は、

2連カートリッジゆえに「**計量**」や「**混合**」が不要なため、
施工業者による利用だけでなく、DIYなどでも幅広く利用されているのだという。

公式HPには、さらに詳しい製品情報が記載されている。

少しでも気になった方は、この機会に是非詳細を覗いてみてほしい。

▼[詳細はこちら](#)

特殊先端針ノズル搭載

軽量や混合が不要

コンクリートクラック補修材

クラックインjekター
CRACK INJECTOR

HU-050

ぐんぐん奥まで入る！



低粘度で“驚異の浸透力”と
“速乾性”で短時間施工を実現！

詳細はこちら

